

北杜の水の価値を知ろう 生徒に水の魅力と誇りを醸成

市内の高校生に、北杜市が世界に誇る水資源の価値について理解を深めてもらうと、市と地元企業が連携して生徒たちの探究学習に協力する「水の山」ユースアイディアプロジェクトが始ま



水資源の保全や活用について、地元企業から説明を受ける市内の高校生たち

り、6月1日に県立北杜高校でオリエンテーションが開かれた。同事業の対象は、県立北杜高等学校と市立甲陵高等学校、私立帝京第三高等学校の生徒たちで、市内で水資源の保全活動を積極的に行うサントリー食品インターナショナルや山梨銘醸、金精軒市農業企業コンソーシアムなどの7企業が協力。同日のオリエンテーションには、リモート参加を含め、3校の生徒約250人が出席し、市の担当者がプロジェクトの概要を説明し、各企業は市内の水資源を活用した商品や事業、保全の取

組みなどを紹介した。また、サントリーの関係者による講義が行われ、同社が実施する天然水の森活動や30年間にわたる人々のミネラルウォーターの消費量や価値観、意識の変化を説明。「少しずつ世の中が

変化するなか、何を愛えて何を愛えないのか、水を真ん中に据えて考えてみてほしい」と語った。今後は、希望する生徒を対象に各企業の工場や地下水を利用した野菜栽培の見学、化粧水づくりなどの体験プログラムを

実施する予定で、生徒たちは水資源をテーマに持続可能なまちづくりなどについての研究を進め、来年の2月下旬以降に3校合同の発表交流会を行うこととしている。

北杜高校の差久保瑞希さん(1年)は、「北杜市の魅力の中心になっ

ては水資源について、企業との協働が実現できると、貴重な水資源を国内外に紹介するため、高校生との協働ができることを考えられたら」と意気込みを語った。

そのほか、多機能型インカメラの導入で連絡業務の負担軽減や職員同士の連携強化を図り、リハビリテーションの分野にも積極的にICTを活用。同介護施設の中込俊太

統括マネージャーは、「働きやすい職場で余裕を持って業務を行うことができれば、より利用者の希望に沿った対応もできる。働く魅力づくりを進め、若者にも介護に関心を持ってもらえたら」と話している。

フルリールむかわ スタッフの負担軽減に見守りセンサーを導入

全国的に常態化している介護現場の人手不足。武川町の介護老人保健施設「フルリールむかわ」

では、業務の負担軽減や効率化で働きやすい職場環境を整えようと、積極的にAIやロボットなどの先端技術を活用した「スマート介護」に取り組んでいる。

同介護施設では、県の介護事業所における「テクノロジーを活用した業務効率化モデル事業」の採択を昨年8月に受け、AI機能を搭載したカメラ付き見守りセンサーを導入。1月から運用を開始した。

このカメラ付き見守りセンサーは、ベッドで寝ている高齢者の動きに反応し、異常動作があった場合、通知が介護職員のスマートフォンに届くもので、その際、ライフカメラで状況を確認することができ、スピーカーで声掛けも可能となっている。

以前は、ベッドの振動で異常動作を知らせる機械を使っていたが、「訪室しないと高齢者の状況が確認できず、誤作動や空振りが多い」という。同センサーの導入で、特に少人数での対応となる深夜帯のスタッフの心身の負担軽減につながったとしている。

そのほか、多機能型インカメラの導入で連絡業務の負担軽減や職員同士の連携強化を図り、リハビリテーションの分野にも積極的にICTを活用。同介護施設の中込俊太

統括マネージャーは、「働きやすい職場で余裕を持って業務を行うことができれば、より利用者の希望に沿った対応もできる。働く魅力づくりを進め、若者にも介護に関心を持ってもらえたら」と話している。

ピアノに活躍の場を 弾きたい人へ「橋渡し」

長野県富士見町で音楽教室を主催する根本崇史さん(37)は、家庭で眠っているピアノが多くあることを知り、ピアノに活躍の場を提供したいと、2022年3月頃から、ピアノを譲りたいという人とピアノを弾きたいという人を結ぶ「ピアノリレー」の活動を開始した。

内版の新聞記事で「ピアノリレー」が取り上げられると、大きな反響があり、「私のピアノを使って欲しい」「ピアノを譲って欲しい」という問い合わせが相次いだという。

根本さんは「ピアノの持ち主の思いを大切にしたい」と、ピアノを譲りたい人と使いたい人の間に立って調整するようになり、これ

までに5台のピアノが新たな場所で利用されているという。

5月には北杜市内でオープンしたギヤラ

リ「桃季」に「APOLLO(東洋ピアノ)」を設置。調律まで見届け、下旬には同ギヤラリーでミニコンサートが開かれた。

根本さんによると、「家庭で眠っているピアノが意外と多くあり、思い出な

どもあつて捨てられずにいる。どこかで使ってもらいたいという希望もあり、ピアノを弾きたい人を紹介し

て、音を響かせたい」と話す。(写真)また、ピアノの移動は専門業者による輸送が必要で、さらに調律など最低限必要な経費も発生することから、譲りたい人と必要とする人に向け、基本的なルールづくりを進めており、「にじいろむじかのホームページ」で「ピアノリレー」で利用についての案内を公開している。



問合わせは080-7004-0747(根本)まで。

北杜市と長野県富士見町、原村の3市町村で構成する「八ヶ岳定住自立圏」事業の一環で、7月9日、インターネット上の仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントが開かれる。対象は、同圏内の在住・在勤者や移住検討者で、25〜45歳までの独身男女。

このメタバース婚活は、コンピュータグラフィックス(CG)で作成したネット上の世界

で、分身となるアバターを自由に動かし、音声やチャットなどで男女が交流するというもので、今回2回目。

昨年12月に開かれた第1回目は、20〜30代の男女23人が参加し、8組のカップルが成立。市の担当によると、参加者からは、「外見ではなく、声や話し方、性格といった人の中身から入ることができ、従来の婚活とは違う良さがあった」と新

しい出会いのきっかけになった」などの声があったという。

今回は、リアルでのデートまでつながったカップルに対し、抽選で3組にスパイオ小淵沢で利用できる1万円分の食事券がプレゼントされる。定員は男女各13人の計26人。参加するためにはパソコンと通信環境が必要で、参加費は3000円。申し込み締め切りは6月30日まで。

仮想空間で婚活 7月9日の参加者募集

北杜市と長野県富士見町、原村の3市町村で構成する「八ヶ岳定住自立圏」事業の一環で、7月9日、インターネット上の仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントが開かれる。対象は、同圏内の在住・在勤者や移住検討者で、25〜45歳までの独身男女。

このメタバース婚活は、コンピュータグラフィックス(CG)で作成したネット上の世界

で、分身となるアバターを自由に動かし、音声やチャットなどで男女が交流するというもので、今回2回目。

昨年12月に開かれた第1回目は、20〜30代の男女23人が参加し、8組のカップルが成立。市の担当によると、参加者からは、「外見ではなく、声や話し方、性格といった人の中身から入ることができ、従来の婚活とは違う良さがあった」と新



メタバース婚活申し込み詳細は、お問い合わせ先まで。



天井に設置されたカメラ付き見守りセンサー

そのほか、多機能型インカメラの導入で連絡業務の負担軽減や職員同士の連携強化を図り、リハビリテーションの分野にも積極的にICTを活用。同介護施設の中込俊太

統括マネージャーは、「働きやすい職場で余裕を持って業務を行うことができれば、より利用者の希望に沿った対応もできる。働く魅力づくりを進め、若者にも介護に関心を持ってもらえたら」と話している。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。

歴史カフェ「秋桜」長坂町の良工房テラスカフェ。6月24日、6月25日の2日間、戦争と人権をテーマにした特別例会が開かれる。講師は政治学者の豊永郁子さんで、定員は8人。午後2時開会。問い合わせは080-6588-7934(樫)まで。

白州町のほしほ文庫を会場にして、7月1日(日)5日まで、「和モダン展」が開かれる。山田ともみさんの「PPバンドカゴ」をはじめ、アートエリノイの「着物地で洋服、小物、小堀宏美さんの「たまゆら山燦(さんさん)」、荻沢里美さんの「タテイングレースあみ物」を紹介する。午後1時30分〜5時まで。問い合わせは045-72711まで。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。

高根町のチームシェルパでは6月22日、家から出るのがおっくうや仕事に行きづらい人を対象にした「大人の居場所」ほち焚きカフェが開かれる。午後2時開会。参加無料。問い合わせは090-2598-2234(片桐)まで。

6月30日、長坂町のたんぼぼ食堂で、「体に優しいランチと手の疲れをほぐすハンドマッサージ」が開かれる。仕事や家事、介護育児などががんばっている人にゆとりがほしいと、参加を呼びかけている。午前11時30分開会。参加費は2000円。定員は5人。問い合わせは045-6890まで。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。

須玉町の津金小学校前広場で、6月25日(金)10月22日まで、毎月第4日曜日に「つがね青空市」が開かれる。農産物の販売や手づくり品フリーマーケット、キッチンカーなどのブースが並び、また、同時に出店者の募集も行われている。午前10時〜午後3時まで。詳しくは020-71000まで。